

# KUMA+

クマプラス

2019  
WINTER  
vol.11



／ 特集 ／

ドクターに聞く

## バセドウ病について

隈病院 栄養科こだわりのバランスレシピ  
からだの中から温める…『粕汁』

神戸の楽しい歩き方  
ぶらり 二宮

お薬ノート  
湿布薬

検査を読み解く

放射性ヨウ素甲状腺検査について



## 当院の方針

### インフォームド・ コンセントの徹底

医師は、診断、治療方針について患者の皆様が納得いくまで説明を行っております。もし、納得できないこと、判らないことがあれば、担当の医師にご遠慮なくお尋ねください。医師から提案された治療法に納得がいけない場合は拒否できます。この際、当院では代わりにどのような治療法があるかを明確にご説明いたします。なお、医学的に妥当ではない治療は当院では行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

### 患者の皆様による 医師の選択

当院では相性の良い医師を探すことができます。何かご不満がある場合には他の医師に変更することが可能です。また、担当以外の医師に相談することもできます。医師の変更や、他の医師への相談をご希望の方はインフォメーションまたは医療相談室までお申し出ください。

### 他院との連携

必要に応じ、当院から他の医療機関へのご紹介を行っております。他の医療機関にかかっておられる方も、当院に現在の治療法で良いか相談していただけます。治療は今までの医療機関で受けていただいても問題ありません。

### 医療相談室の設置

看護本部本部長による医療相談室を設置しています。病気のことはもちろん、個人的なお悩み(ご自身の心の問題、ご家族や職場のお悩み等)の他、治療についての不満や担当医師と相性が合わないといった直接医師には言いにくいこと等、どのような内容でもお気軽にご相談ください。当院にはカウンセリングセンターも設置しています。ご希望により医師を通じて紹介いたします。まずはインフォメーションまでお申し出ください。

### 個人情報の保護と 情報開示

当院では、個人情報の保護に積極的に取り組んでおり、個人情報の利用目的に関して皆様に公開しております。また、当院が有する個人情報をご本人様へ開示しています。詳しくは「隈病院における個人情報の取り扱いについて」をご覧ください。

### 病名告知の徹底

当院では、診断名、治療法、今後の見通しについて、はっきりありのまま告げる方針にしています。患者の皆様が本当のことを知って治療を受けられることが大切だと考えるからです。

### 休診のお知らせ

2019年

3月2日(土)  
午後休診

なお、各医師の休診日は個別にお問い合わせください。

### 当院から皆様へのお願い

安全でよりよい医療を実現するため、医療従事者だけではなく皆様のご協力が必要です。

- ご自身の健康に関する情報はできるだけ正確にお伝えください。
- 治療に関して十分質問をして、理解した上でお受けください。
- 当院からお渡しする書類がご本人のものか必ずご確認をお願いします。
- 他の患者様や、当院の診療に支障をきたすことが無いよう、病院のルールや社会的ルール、病院職員の指示をお守りください。

2019年も

どうぞよろしく

お願いいたします!



### 再診予約のお願い 98日(14週)前から予約可

スムーズな診察が行えるよう再診は予約が原則となっております。

### インターネットから24時間再診予約できます

受付は3日前の14:00まで(休診日を除く)  
予約の確認や日時変更、キャンセルもできますのでぜひご利用ください。

◆PC・スマートフォンの方はこちら

<https://3713721.jp>

◆予約専用ダイヤル(受付8:30~17:00)

☎078-371-0489

# バセドウ病について

バセドウ病は、甲状腺ホルモン過剰の状態を引き起こす自己免疫性疾患です。長期間放置していると、骨粗鬆症の他に不整脈や心不全など生命に危険を及ぼす疾患の原因にもなるため治療が必要です。しかし、適切に治療を受ければ、健康な方と全く変わりのない生活、日常生活、運動、妊娠・出産などができ、人生において病気のために制限されることは何もありません。

## バセドウ病の原因・症状

甲状腺の細胞の表面にあるTSH受容体に対する抗体（TRAb）ができ、そ

低値となりますが、軽症の場合には $FT_3$ や $FT_4$ は正常で、TSHのみ低値の場合もあります。TSH受容体抗体（TRAb）が作られるのが原因で、実際にTRAbはバセドウ病の99%で陽性となり、病状の改善と共に低下します。超音波検査では、典型的には血流が増加した大きな甲状腺がみられます。さらに、TRAb高値の無痛性甲状腺炎や亜急性甲状腺炎、逆にTRAbが低値のバセドウ病も存在するので、診断をより確実にするため、原則として放射性ヨウ素摂取率（**13ページ参照**）、あるいはテクネシウム摂取率の検査を行います。

## 治療の種類・抗甲状腺薬治療

バセドウ病の治療には、抗甲状腺薬の内服、放射性ヨウ素内服療法、手術の三種の方法があります。（表）

抗甲状腺薬治療では、抗甲状腺薬のチアマゾール（メルカゾール）とプロピルチオウラシル（チウラジール、プロパジール）を毎日服用します。早い方では

れがきっかけで甲状腺ホルモンが過剰に作られる病気です。その原因は正確には分かっていませんが、病気になるやすい体質的な因子があり、ストレスが多いために発症しやすいと言われています。甲状腺の腫大、頻脈、眼球突出の3つの症状が有名ですが、すべてがそろうとは限りません。他に、動悸・多汗・体重減少・疲労感・手の震え・息切れなどの症状があります。

## 診断のための検査

バセドウ病では甲状腺ホルモン（ $FT_3$ 、 $FT_4$ ）が高値で甲状腺刺激ホルモン（TSH）が

表 治療の種類

	抗甲状腺薬治療	放射性ヨウ素内服療法	手術療法
適合する方	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に通院できる方</li> <li>甲状腺腫の小さい方</li> <li>妊娠中の方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抗甲状腺薬で治らない方</li> <li>抗甲状腺薬で副作用のた方</li> <li>手術後の再発の方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射性ヨウ素内服療法に適合しない方</li> </ul>
適合しない方	副作用のた方	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年以内に妊娠希望の方</li> <li>眼球突出のひどい方</li> <li>甲状腺があまりにも大きい方</li> <li>甲状腺がんがある方</li> <li>大きな腫瘍のある方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院できない方</li> <li>全身麻酔ができない方</li> <li>輸血のリスクを許容できない方</li> </ul>
長所	2年間で約3割の方が内服を中止できる	一時的に内服をやめられる可能性がある	TRAbが下がりやすい
短所	内服を中止できない場合がある	長期的には甲状腺ホルモンの内服が必要となる	甲状腺機能低下症となり甲状腺ホルモンの内服が必要
副作用/合併症	<ul style="list-style-type: none"> <li>無顆粒球症</li> <li>肝障害</li> <li>じんま疹など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>反回神経麻痺</li> <li>低カルシウム血症</li> <li>手術の傷跡</li> </ul>

1か月、遅い方でも3〜4か月後には血液中の甲状腺ホルモン値が正常になり症状が改善します。

その後、経過をみながら徐々に薬を減らし、最終的には薬を1日おきに内服して甲状腺機能が正常の状態が半年以上継続すれば、内服の中止を検討します。薬が中止できるまでの期間は経過が良い方で約1〜2年で、それまでは内服を継続する必要があります。しかし、すべての方が内服を中止できるわけではなく、中止しても再発することもあります。再発までの期間はさまざまですが、内服中止後、約2年間は十分な注意が必要です。

治らない場合は長期にわたって内服を続けなければなりません。きちんと内服して甲状腺ホルモンを正常値に保てば症状もなく、健康な方と全く変わりのない生活ができます。

## 抗甲状腺薬の副作用

副作用を早期に見察するためには定



診療情報管理科 科長、内科医長

くどう たくみ  
**工藤 工**

**PROFILE** 1996年3月神戸大学医学部卒業後、神戸大学医学部附属病院内科、淀川キリスト教病院内科、神戸大学大学院内分泌血液神経内科を経て2005年より隈病院内科勤務。2018年4月、診療情報管理科 科長に就任。日本内科学会総合内科専門医、日本甲状腺学会専門医。最適と考えられる治療を提案し、患者自身が治療法を選択できるような説明を心掛けている。

期的に血液検査等が必要です。いずれの副作用も内服開始後2か月以内に発生することが多いので、はじめは2週間ごとに血液検査が必要です。2か月が経過し、副作用もなく甲状腺機能が安定してくると検査の間隔を空けることができますが、少なくとも3か月に一度は血液検査が必要です。

### (1) 無顆粒球症

頻度は1000名中1〜2名と低いのですが、最も気をつけなければならない副作用です。発症すると感染をおこして高熱(38度以上)や喉の痛みがでてきます。初期に見られる高熱、喉の痛みなどは風邪や扁桃腺炎の時と同じ症状です。高熱がでたら、すぐに薬をやめて近隣の医療機関で血液検査を受け、白血球数(顆粒球数)を測定してください。夜中に熱が出た場合は朝まで待ってから血液検査を受けるくらいの時間的余裕がありますが、放っておくと命にかかわることがあります。検査を受けて顆粒球の減少がなければ副作用ではありませんので、薬を続けてください。

### (2) 肝機能障害

定期的に検査を受けることで自覚症状がでる前に発見されることが多く、重症化するとはあまりありません。重症になると黄疸がでることがあります。

### (3) かゆみ・じんま疹・薬疹

副作用の中では最も多く、10〜20名に1名の割合で内服開始後3〜5週間で起ります。抗ヒスタミン剤を併用することで改善することが多く、改善すれば薬を中止する必要はありません。抗ヒスタミン剤がきかない場合、重症の場合には薬を中止します。

前述以外の副作用もいるいるありますので、なにか症状があれば担当医にご相談ください。

## 抗甲状腺薬の治療後

抗甲状腺薬中止後2年経過し再発がない場合、再発する可能性は否定できませんが、その確率は低くなります。バセドウ病が治った後に慢性甲状腺

間は月に一度、血液検査を行い抗甲状腺薬や甲状腺ホルモン剤の内服を調節する必要があります。一時的には内服が必要なくなる時期もありますが、長期的には多くの方が甲状腺機能低下症となり、甲状腺ホルモンの内服が必要になります。

手術と比較すると、手術に伴う傷がないこと、副甲状腺機能低下症、反回神経麻痺などのリスクがないことから、どちらでもよい場合は放射性ヨウ素内用療法を勧めます。バセドウ病の原因となるTRAbは最終的には低下しますが、手術と比較すると1〜2年ほど遅れます。そのため、難治性のバセドウ病眼症がある方、1〜2年以内に妊娠を希望している女性の場合には手術を勧めます。他に、甲状腺があまりにも大きい方、甲状腺がんの合併がある方にも手術を勧めます。

## バセドウ病の手術

バセドウ病の手術の目的は、甲状腺組

織を切除し甲状腺ホルモンが出ないようにすることです。治療の第1選択にはなりません(表3ページ)の理由で手術をお勧めすることがあります。残っている甲状腺組織が少ないほどTRAbが早期に低下します。そのため、手術が必要となる方には全摘術あるいは準全摘術をお勧めしています。手術後は生涯甲状腺ホルモンの服用が必要ですが、副作用がなく、妊娠中、授乳中에서도安心して服用できます。

## 治療における日常の注意

甲状腺ホルモンが過剰な状態では、動悸・発汗過多・疲労感など症状があり、甲状腺機能の改善までは脈拍があがるような激しい運動は避ける必要があります。治療を開始し、甲状腺機能が正常になれば運動等の制限はありません。甲状腺ホルモンの過剰状態では体重が減りやすいですが、同時に食欲も増加します。治療前は食べ過ぎの割に太らない状

炎による甲状腺機能低下症を発症することがあります。慢性甲状腺炎は一般に甲状腺機能が低下する病気で、一見するとバセドウ病と反対の病気ですが、バセドウ病、慢性甲状腺炎ともに甲状腺の自己免疫性疾患です。実際に、バセドウ病の約8割で抗Tg抗体、抗TPO抗体などの慢性甲状腺炎に関連した抗体が陽性です。年に一度は甲状腺機能を検査することを勧めします。

## バセドウ病の放射性ヨウ素内用療法

放射性ヨウ素のカプセルを一度だけ内服することで甲状腺を小さくする治療で、後述の手術の代わりとなる療法です。外来で治療ができますが、甲状腺が特に大きい場合は専用病室への入院や半年後以降に再度治療が必要となることがあります。内服後1か月ほど経過すると徐々に甲状腺が小さくなり、その後甲状腺ホルモンが低下してきます。半年

態ですが、治療を開始したあとは以前よりも太りやすくなりますので治療開始とともに食事量を減らしていく必要があります。また、タバコを吸うと治りにくくなり、突眼がおこりやすくなるため禁煙が必要です。

## バセドウ病と妊娠

妊娠に関して最も重要なことは甲状腺機能を正常化しておくことです。バセドウ病の原因のTRAbは胎盤を通じて胎児に移行しますが、母親が抗甲状腺薬を内服していれば、抗甲状腺薬も胎児に移行し、一緒に治療されていますので心配はいりません。抗甲状腺薬を適切に使用すれば健常の妊婦さんとはほぼ変わらない妊娠・出産ができるので心配はいりませんが、妊娠を希望している場合は治療方針が若干異なりますので先に担当医と相談してください。

講演

## 内科副科長 西原 永潤が第36回内分泌代謝学サマーセミナーにて講演

8月4日に宮城・蔵王にて開催された第36回内分泌代謝学サマーセミナーにおいて、内科副科長 西原が、「甲状腺腫瘍の発症機構と診断・治療の指針」のシンポジウムにて講演を行いました。このセミナーは毎年夏に、全国から若手やベテランの内分泌専門医が一堂に会して寝食を共にしながら、早朝から夜遅くまで講演や発表が繰り広げられます。本講演では、甲状腺腫瘍と腫瘍様病変の発症機構に関する分子

マーカーに関して、国内外の最近の進歩、当院での研究成果、長崎大学との共同研究等を中心とした講演が行われ、活発な議論が展開されました。



講演する西原

講演

## 内科科長 伊藤 充が金沢市で特別講演

7月21日に内科科長 伊藤 充が、金沢市にて開催された第9回口シユ学術セミナーin金沢において特別講演「甲状腺機能亢進症と低下症の診断と治療について」の講演をしました。甲状腺疾患に関する基礎知識から、甲状腺機能亢進症および低下症の診断方法、そしてその治療方法について、1時間にわたって講演しました。講演内容のエビデンスには当院の研究成果が

多数含まれており、そのような話題を中心に講演が行われました。会場はほぼ満席で、遠方の富山、敦賀からの参加者もおられ、盛況な講演会でした。



講演する伊藤 充

講演

## 学術顧問 西川 光重が姫路市で特別講演

9月8日に姫路市・姫路キャッスルグランヴィリオホテルで開催された「第16回姫路Doctor's教室」で学術顧問 西川が、「甲状腺疾患診療のエッセンス・認知機能と甲状腺機能異常の関連を含めて」と題した特別講演を行いました。この会は姫路の開業医を中心とした地域の勉強会であり、甲状腺疾患の実際的な診療方法を解説するとともに、甲状腺機能と脳機能・認知機能との関

連や、現在隈病院が取り組んでいる最先端の診療や研究などについて約1時間の講演を行いました。出席者は参加予定数を上回り、また講演後の質疑応答では多くの質問が続き、熱心な討議が行われました。



講演する西川

隈 | 病 | 院 | の | 最 | 前 | 線



さまざまな講演や発表を行っています。

7月	4日	兵庫頭頸部腫瘍研究会(兵庫県神戸市) 医師 伊藤 康弘「ここが変わった甲状腺癌診療ガイドラインとステージング」	
	7日	宮城甲状腺講演会(宮城県仙台市) 医師 舛岡 裕雄「甲状腺手術における術中神経モニタリング」	
	7日	日本甲状腺病理学会総会(東京都) 医師 廣川 満良「下咽頭梨状窩瘻の病理学および免疫組織化学的検討」 医師 林 俊哲「胸腺様分化を伴う紡錘形細胞腫瘍の1例」 検査技師 鈴木 彩菜「甲状腺乳頭癌におけるCA19-9の免疫組織化学的検討」	
	14日	読売健康講座(大阪府大阪市) 医師 宮 章博「①身近な病気である甲状腺疾患について②甲状腺腫瘍について」	
8月	17日	灘区医師会生涯教育学術講演会(兵庫県神戸市) 医師 伊藤 充「甲状腺機能亢進症と低下症の診断と治療」	
	21日	ロシユ学術セミナー(石川県金沢市) 医師 伊藤 充「甲状腺機能亢進症と低下症の診断と治療」	<a href="#">▶P7へ</a>
	2~4日	内分泌代謝学サマーセミナー(宮城県刈田町) 医師 西原 永潤「甲状腺腫瘍の発症機構と診断・治療の指針」「甲状腺腫瘍と腫瘍様病変の発症機構と分子マーカー」	<a href="#">▶P7へ</a>
	18日	Annual Meeting of Thyroid diseases(中国・広州市) 医師 伊藤 康弘「How to treat papillary thyroid carcinoma」	
9月	2日	KOBE内分泌・代謝スキルアップセミナー(兵庫県神戸市)	
	25日	医師 伊藤 充「甲状腺全摘後患者におけるレボチロキシン補充療法についての再考」 医師 川崎 元樹「症例発表:甲状腺全摘後患者におけるレボチロキシン補充療法についての再考」	
	6日	福島県甲状腺超音波検査講習会(福島県福島市) 医師 廣川 満良「甲状腺腫瘍の病理と細胞診」	
	6日	東京医科大学学生講義・大学院特別講義(東京都) 医師 廣川 満良「甲状腺濾胞性腫瘍の病理診断と細胞診」「臨床細胞診」	<a href="#">▶P8へ</a>
	8日	神戸甲状腺研究会(兵庫県神戸市) 医師 宮内 昭 医師 笠原 俊彦「Dexamethasone によるパセドウ病術前短期コントロールの後方視的検討」 医師 深田 修司「診断に苦慮した中毒性多結節性甲状腺腫の1例」 医師 金村 信明「小児の甲状腺濾胞性病変への対応」	
	8日	姫路Doctor's教室(兵庫県姫路市) 医師 西川 光重「甲状腺疾患診療のエッセンス～認知機能と甲状腺機能異常の関連を含めて～」	<a href="#">▶P7へ</a>
10月	10日	病理細胞検査部門研修会(大阪府大阪市) 検査技師 鈴木 彩菜「甲状腺細胞診」	
	15日	日本遺伝看護学会学術大会(長崎県長崎市) 看護師 内 百合香「遺伝相談外来における台帳システムを利用した患者管理」	
	19日	徳島大学医学部保健学科講義(徳島県徳島市) 医師 廣川 満良「細胞診特論」	
	21日	日本臨床内分泌病理学会(徳島県徳島市) 医師 廣川 満良「甲状腺細胞診報告様式ベセスダ第2版の改訂点」 医師 西原 永潤「～甲状腺 update 2018～ 甲状腺腫瘍様病変と遺伝子異常」 検査技師 樋口 観世子「甲状腺細胞診報告様式ベセスダシステムの改訂(第2版)と当院での対応」	
	29日	富士通利用の達人導入/運用ノウハウ事例発表会(大阪府大阪市) 医師 工藤 工「ナビットの利用と未来のカルテ」	
	6日	全日本病院学会(東京都) コメディカル 里島 真由子「多職種間で外来業務をサポートするための情報共有の運用方法」	
10月	7日	日本乳癌甲状腺超音波医学会学術集会(大阪府大阪市) 医師 中村 友彦「腺腫様甲状腺腫の超音波検査で注意すべき点」 検査技師 太田 寿「甲状腺専門病院での超音波検査運営の工夫について」	
	9~10日	倉敷芸術科学大学(岡山県倉敷市) 医師 廣川 満良「甲状腺の病理細胞診」 検査技師 樋口 観世子「甲状腺 検鏡実習」	
	18日	日本癌治療学会学術集会(神奈川県横浜市) 医師 廣川 満良「甲状腺未分化癌の病理診断」	
	25~26日	日本甲状腺外科学会学術集会(神奈川県横浜市) 医師 宮内 昭「低リスクの甲状腺微小乳頭癌は積極的経過観察が取扱いの第一推奨」 医師 宮 章博「鎖骨授動術:甲状腺外科専門医に必須の手法」 医師 伊藤 康弘「当院における微小癌経過観察の推移-新しいマネジメントが受け入れられるまで-」 医師 木原 実「穿刺吸引細胞診で良性と診断された甲状腺結節の長期フォロー後の転帰」 医師 東山 卓也「術前診断の難しかった甲状腺紡錘細胞腫瘍の2例」 医師 舛岡 裕雄「甲状腺手術における反回神経、上喉頭神経外枝の温存」 医師 金村 信明「小児の濾胞性病変」 医師 林 俊哲「甲状腺腫瘍新WHO分類(第6版)改訂のポイント(病理学会合同)低分化癌」 看護師 新田 早苗「甲状腺・副甲状腺手術における退院後に後出血を発症した症例の検討」	<a href="#">▶P8へ</a>
	27日	甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会(神奈川県横浜市) 医師 宮内 昭「国際術中神経モニタリング研究グループガイドライン2018:Part II: 漫漶性甲状腺癌における反回神経の適切な取り扱い方」 医師 舛岡 裕雄「Staged thyroidectomyを考慮した症例についての検討」	<a href="#">▶P8へ</a>
	30日	ONCOLOGY CONGRESS in Belgrade, Serbia(セルビア・ベオグラード) 医師 宮内 昭「Preservation and Reconstruction of the Recurrent Laryngeal Nerve in Thyroid Cancer Surgery」	

# 研修・見学の記録



国内外から研修・見学のために隈病院を訪れる甲状腺医療に携わる方々をご紹介します。

7月	8月	9月	10月
国内 医師……………2名 海外 医師……………3名 その他……………1名	国内 医師……………2名 海外 医師……………2名	国内 医師……………3名	国内 医師……………2名 検査技師……………3名



## “専門病院ならではの有意義な研修でした”

関西労災病院 中央検査室 吉野 龍一 検査技師

隈病院で「甲状腺病理細胞診断教育コース」という研修を実施していることを知り、今回参加させていただきました。以前、学会で隈病院 病理診断科の廣川先生の講演を聞き、その際に穿刺吸引細胞診（細胞診についてはKUMA+9号・13ページ参照）の方法を説明したビデオも見ました。関西労災病院でも甲状腺の細胞診の診断をすることはよくあるのですが、診断に苦慮することがしばしばあるため、甲状腺の細胞診について知識を深めたいと思い、研修に参加しました。

普段は、既に標本になったものを顕微鏡で診断するばかりで、標本（プレパラート）ができるまでの課程を見ることはあまりありません。今回、実際に穿刺をして細胞を取り、病理医や検査技師が診断するための標本を作る作業を見学して、分かりやすく診断しやすい標本を作るには、細胞を採取するところからが大切だと分かりました。

また、隈病院の検査技師のレベルの高さにも驚きました。何より、個々のスキルに任せるのではなく、全員が同じ認識と方法で診断をするよう統一がなされていることが素晴らしいと思います。また、専門病院ならではの症例数の多さを活かして、甲状腺について短期間に集中して学習できるのはとても有意義です。隈病院ほどみっちり研修をさせていただける医療機関はあまりないので、今回の研修は、とてもありがたい経験でした。



## 学会

### 甲状腺外科学会学術集会報告

10月25日～26日の2日間にわたり、横浜市で第51回日本甲状腺外科学会学術集会が行われ、広く活発な討論が行われました。当院からは院長 宮内が特別発言「低リスクの甲状腺微小乳頭癌は積極的経過観察が取扱いの第一推奨」、副院長 宮は口演「鎖骨授動術:甲状腺外科専門医に必須の手技」とランチョンセミナー「日本発、マイクロ波エネルギーデバイス“アクロサージ”を使用した甲状腺手術」、治験臨床試験管理科科長 伊藤 康弘は「当院における微小癌経過観察の推移—新しいマネージ

メントが受け入れられるまで—」を、外科科長 木原は口演「穿刺吸引細胞診で良性と診断された甲状腺結節の長期フォロー後の転帰」、外科副科長 東山はポスター「術前診断の難しかった甲状腺紡錘形細胞腫瘍の2例」、外科副科長 舩岡はビデオシンポジウム「甲状腺手術における反回神経、上喉頭神経外枝の温存」、頭頸部外科 金村は口演「小児の甲状腺濾胞性病変への対応」をそれぞれ発表しました。木原は特選演題賞を受賞しました。

## 学会

### 第110回 神戸甲状腺研究会に参加発表

9月8日に当院の大会議室にて第110回神戸甲状腺研究会が開催され、阪神地区の多くの甲状腺の専門家が参加しました。当院からは、内科 笠原が「Dexamethasoneによるバセドウ病術前短期コントロールの後方視的検討」、内科顧問 深田が「診断に苦慮した中毒性多結節性甲状腺腫の1例」、頭頸部外科 金村が「小児の甲状腺濾胞性病変への対応」について発

表し、活発な討論がありました。今回は特別講演として国立成育医療研究センター 分子内分泌研究部室長 鳴海 覚志先生の「次世代シーケンシングで解明する先天性内分泌疾患の分子基盤」の講演があり、分子生物学的研究の最先端の話聞くことができ、大変有意義な研究会でした。

## 学会

### 第5回 IONM研究会報告

10月27日に第5回甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会が横浜市で開催され、甲状腺手術中における発声に関わる神経の温存について活発な討論が行われました。当院からは院長 宮内が特別企画「国際術中神経モニタリング研究グループガイドライン

2018 Part II: 浸潤性甲状腺癌における反回神経の適切な取り扱い方」の講演を行いました。また外科副科長 舩岡は口演「Staged Thyroidectomyを考慮した症例についての検討」を発表しました。

## 家族との時間を大切に

2018年4月から隈病院に勤務しています。週末は、6歳になる娘の習い事に付き添ったり、一緒に遊園地へ行ったりして家族とゆっくり過ごしています。妻も仕事をしているので、家族全員が揃う週末は貴重な時間。家族との時間の確保を最優先にしています。

## 自分時間には歴史の世界へ

一人の時間には、のんびりとお酒を楽しみながら本を読むなどしています。文字を読むこと自体が好きなので、ジャンルを問わず本を読みますが、特に好きなのは日本の歴史小説。中でも戦国時代の話が好きです。お酒を片手に、遙かな歴史の世界に浸ります。

お酒の好みも幅広く、種類にこだわらず楽しんでます。音楽は、中学生のころ友達に借りたCDがきっかけで、80年代の洋楽のヘビーマタルやハードロックを聞きます。それまで知らなかったジャンルの音楽で夢中になり、今に至ります。運転中に聞くと爽快です。

## 隈病院での新たな交流

私は大阪出身で、神戸で働くのは初めてですが、山も海も近くとても良い街ですね。同じ時期に入職した学年の近いドクターたちと食事やテニスに行くなど、隈病院に勤務し始めてから新たに出来た交流もあります。テニスは、前に勤務していた職場でもドクター同士でプレーしていました。

だが、今も隈病院のドクターと毎週1回練習をしています。学生時代から続けているテニスを、隈病院でも続けられるのは嬉しいことです。

不安をほどく  
コミュニケーションを

兄が医師だったこともあり、医師を志すようになりました。当然、患者さんはご自身の病状に不安を持たれていくと思います。安心して病気を治していくには、自分に合った医師を探すことも大切なこと。そのためにも、できるだけ不安を解消できるようにコミュニケーションを大切に、日々患者さんと接しています。

## Doctor's Profile

2008年大阪市立大学医学部卒業。大阪市立総合医療センターで初期臨床研修、後期研修を経て2016年より小児耳鼻咽喉科配属。2018年4月より隈病院で勤務。日本耳鼻咽喉科専門医。

現場の  
トライ看護師をサポートし、  
入院患者さんに安心を

隈病院では、医師・看護師だけでなく看護助手も入院から退院までを支えています。入院時には病棟をご案内し、入院中は食事の配膳に加えて、適時お茶もお部屋へお持ちしています。退院時には忘れ物がないよう一緒にお部屋を確認し、入院患者さんをお見送りするなど、看護師だけでは行き届かない入院生活の「ちょっとしたこと」をサポートします。

また、入院前には病室の、入院中は手術後のリハビリ室のベッドメイキングを行うほか、体を拭くのに利用するタオル管理、お部屋の除菌清掃など、快適に過ごしていただくための環境整備も私たちの仕事です。

看護助手の仕事の多くは、入院患者さんの目にふれることはありません。しかし、私たちが看護師の業務をサポートすることで看護師が業務に専念でき、それによって入院患者さんが安心して過ごせる入院生活を提供できるのであれば幸いです。「いつもありがとうございます」という嬉しいお声掛けを励みに、今日も病棟を支えています。

(病棟看護科 看護助手  
井上 かおる)



安心して入院生活を過ごせる工夫を重ねています。

日々の  
? を解決

## 服薬中に風邪薬を飲んでもいいの?

## はい、一緒に飲んでも大丈夫です

市販の風邪薬の注意書きには「甲状腺機能障害と診断された人は医師に相談してください」と記載されています。甲状腺の病気で通院中だと服用できないのか?と心配になりますが、風邪薬の成分で、チラーチンやパセドウ病の薬との飲み合わせが悪いものではなく、一緒に服用できます。

風邪薬で注意が必要なのは、ヨウ素や自律神経を刺激する成分が含まれている場合です。ヨウ素はうがい薬などに含まれ、橋本病の場合は甲状腺機能が低下することがあります。風邪のときなどの数日間の場合には問題ありませんが、習慣的な使用は避けましょう。

自律神経を刺激する成分(エフェドリン、ジプロフィンなど)は、漢方薬、咳止めなどに含まれ、甲状腺機能が正常な方は心配なく服用できますが、パセドウ病で甲状腺ホルモンが正常化していない方は動悸や息切れを感じる場合があります。

(内科 川崎 元樹)

# 放射性ヨウ素甲状腺検査について

## 摂取率検査とシンチグラフィ検査

### 検査で何が分かるの？

食事などで体内に入ったヨウ素は甲状腺に集まり、甲状腺ホルモンの合成に使われます。放射性ヨウ素(放射能を含んだヨウ素)も食物から取るヨウ素と同じように甲状腺に集まります。その特性を利用したのが放射性ヨウ素甲状腺検査です。微量の放射性ヨウ素を含む薬(カプセル)を服用することで、薬が甲状腺に集積し、その薬から放出される放射線を専用の装置で検出し甲状腺の機能、大きさ、位置、形態などが調べられます。

甲状腺摂取率検査では、バセドウ病と無痛性甲状腺炎の鑑別ができません。またバセドウ病の放射性ヨウ素内用療法(アイソトープ治療)の投与量の決定などにも用いられています。甲状腺シンチグラフィ検査では甲状腺の大きさ、位置、形態を知ることができます。



図1 当院では2種類のカプセルを使います  
左:ヨウ素123 右:ヨウ素131



図2 甲状腺摂取率検査  
あごをのせて約2分間イスに座ります



図3 甲状腺シンチグラフィ検査  
装置のベッドで約10分間横になります

特集でも放射性ヨウ素内用療法(アイソトープ治療)について紹介しています



診療支援本部  
放射線科主任  
肥田 博文

できれば約1週間のヨウ素制限を行った後、放射性ヨウ素(図1)を飲んでから3時間後か24時間後(まれに48時間後)に検査をします。  
検査は動かなければ息止めする必要はありません。甲状腺摂取率検査(図2)の検査時間は約2分間で、甲状腺シンチグラフィ検査(図3)は約10分間です。15分もあれば検査は終了します。

### どうやって検査するの？

### おわりに

通常、放射性ヨウ素甲状腺検査は予約検査ですが、当院では患者の皆様への負担にならないよう、即日検査ができる体制を整えています。なお、妊娠または妊娠の疑いがある方および授乳中の方への検査は禁忌のため、必ずお申し出ください。

隈病院には医療対話推進者らが相談員として開設している「医療相談室」があります。治療を受けるにあたり、病気のことや検査結果、手術のことなど病状や治療に関するご相談はもちろんです。日常生活におけるさまざまな質問等に、看護師としてお答えできる範囲で対応しています。  
患者の皆様は、より主体的に医療に参加していただき、相互理解を深めることで安全な医療を提供したいと考えています。医療相談室では、治療を受ける上で疑問に感じたことや考えを医療者へより伝えやすくすることで、相互理解や対話がスムーズに進むようサポートしています。  
医療相談は原則対面による相談です。ご希望の方は3階インフォメーションまでお申し出ください。  
(医療安全管理者 看護本部 本部長 新田 早苗)



### 医療相談室のご案内



## お薬ノート

### 湿布薬

#### ●湿布に副作用？

今回は肩こりや腰痛などでよく使われる湿布薬のお話です。皆さんにも馴染みがあるかと思いますが、湿布薬はかぶれさえしなければ副作用がないと思われていませんか？しかし、薬の成分によっては注意を要するものがあります。  
モーラスやミルタックスといった湿布に含まれる成分「ネトプロフェン」では「光線過敏症」という副作用が起きることがあります。症状としては、貼っていた箇所が赤く腫れる、強い痒みが出るなどです。これは薬剤と

#### ●注意ポイント

起きてしまうと治るまでに時間がかかったり、色素沈着を起こしたりします。貼った箇所に紫外線を当てないよう、服で覆ったり、サポーターや日焼け止めを使用したりして予防しましょう。

また、冬の季節や曇りでも紫外線が届くため副作用を起こす可能性が十分にあり、ガラスは紫外線を透過するので室内にいるからと安心できません。湿布をはがした後、光線過敏を起こした報告があり、使用後4週間は引き続き注意する必要があります。  
湿布だからと簡単に家族や知り合いに譲ってしまいがちですが、やはり湿布も薬です。きちんと説明を受けて、取り扱いには十分に注意を払うことが大切です。  
(薬剤科 石田 真理)

# BALANCE RECIPES

～五感で楽しむ毎日の食事～

隈病院では、入院中の患者の皆様へ毎日の食事を楽しみにしていただけるよう、食べることが大好きな管理栄養士たちがバランスの取れたおいしい献立を日々研究しています。そんな管理栄養士たちが、ご自宅でも、ヨウ素制限中でも、ご家族と一緒にバランスの良い食事を楽しまれるよう考えた簡単レシピをお届けします。

今回のテーマ

## 温かい食事から からだの中から“温度調節”

気温が下がる冬は温かいものを食べてからだの中から体温を上げましょう。根菜や酒粕といった、温まる食材をたっぷり使った冬にうれしいレシピをご紹介します。

粕汁は、食材を順番通り重ね、層にして煮込む“重ね煮”という方法で調理します。野菜や調味料の具材同士が素材の旨味を引き出し合い、出汁を使わなくてもおいしく仕上がるため、ヨウ素制限の方にも安心です。

マスタードサラダに使うカブに含まれる消化酵素アミラーゼは、胃もたれや胸やけを改善し、胃腸を整えてくれるので外食が多くなる年末年始におすすめです。冬のカブは甘みが強く、また、食欲を促進する辛み成分イソチオシアネートは熱に弱いので、ぜひ生で楽しんでみてください。

〈レシピ提供〉  
栄養科 管理栄養士  
いのうえ よしこ  
井上 嘉子



## 粕汁

熱量211kcal、塩分1.4g、脂質5.7g、  
タンパク質18.7g、炭水化物17g (1人分)

### 材料 (2人分)

みそ……………大さじ1	⑥里芋……………1個
酒粕……………60g	⑦うす揚げ……………1/4枚
④豚ももスライス…50g	⑧シイタケ……………2枚
⑨ニンジン……………小1/4本	⑩こんにゃく……………1/6枚
③ダイコン……………3cm	水……………300cc
②タマネギ……………1/8個	薄口しょうゆ……………小さじ1

### 作り方

- ①豚肉は一口大に切る。こんにゃくは、あく抜きをして一口大に手でちぎる。うす揚げは1cm幅に切る
- ②野菜は洗って皮をむき、タマネギは5mm幅の千切りに、それ以外は1cm幅のいちょうに切る
- ③切った具材を材料表④～⑩を逆順に層にして豚ももスライスまで入れ、一番上に酒粕をちぎってのせ、みそを置く。鍋肌から半量の水(150cc)を入れて蓋をする
- ④弱火で20～25分火にかけ、良い香りがして野菜がやわらかくなったらざっくり混ぜて酒粕とみそを溶く
- ⑤残りの水を入れ、薄口しょうゆで味を調える
- ⑥お好みでネギや七味唐辛子を入れる

## カブのマスタードサラダ

熱量24 kcal、塩分0.4g、脂質1.3g、  
タンパク質0.5g、炭水化物3.3g (1人分)

### 材料 (2人分)

カブ……………中1個	ゆず果汁……………小さじ1
カブの葉……………適量	粒入りマスタード……………小さじ1/2
塩……………0.6g	オリーブオイル……………小さじ1/2

### 作り方

- ①カブは洗って皮をむき、1cm幅のくし形に切る。調味料を合わせておく
- ②カブの葉は洗って5mmに切り、軽く湯がいておく
- ③食べる直前に材料すべてを和える

### ★カブの葉

カルシウム、葉酸、鉄分など栄養素が豊富  
塩で軽く揉んで浅漬けにしても◎

### ★カブ

アミラーゼは胃腸を整え、  
イソチオシアネートは  
食欲増進に効果的

### ★豚肉

バラ肉を使うと  
コクがアップ

### ★根菜

身体を温める根菜は、  
お好みのものをたっぷりと

## Minato Hütteに到着したら…



ビールSサイズ500円～、  
白金豚のソーセージ700円(税込)

CHEERS?

常に4種類ほど用意されている日本各地の樽生クラフトビールは、樽が空いたら他の銘柄に。



CHECK IN?

写真は女性専用ドミトリー。1泊3,200円



TRY THE 銭湯?

ほっこりする木桶にタオルと石鹸類が一式、二宮温泉の入浴券が付いて500円のお風呂セット。

## 湯あそびひろば 二宮温泉

Minato Hütteから  
徒歩約2分!



GOAL!  
22:00

露天風呂、ジェットバス、薬湯、サウナ、炭酸風呂などなど…  
しっかり遊んだ後は温まって疲れを癒したい人続出!

- 湯あそびひろば 二宮温泉
- ◆住所/神戸市中央区二宮町4-2-18
  - ◆TEL/078-291-0260
  - ◆時間/14:00～翌9:30(閉館翌10:00)
  - ◆料金/入浴料=大人430円、小学生160円、幼児60円
  - ◆休/なし(メンテナンス時は臨時休業)



NEXT  
21:00

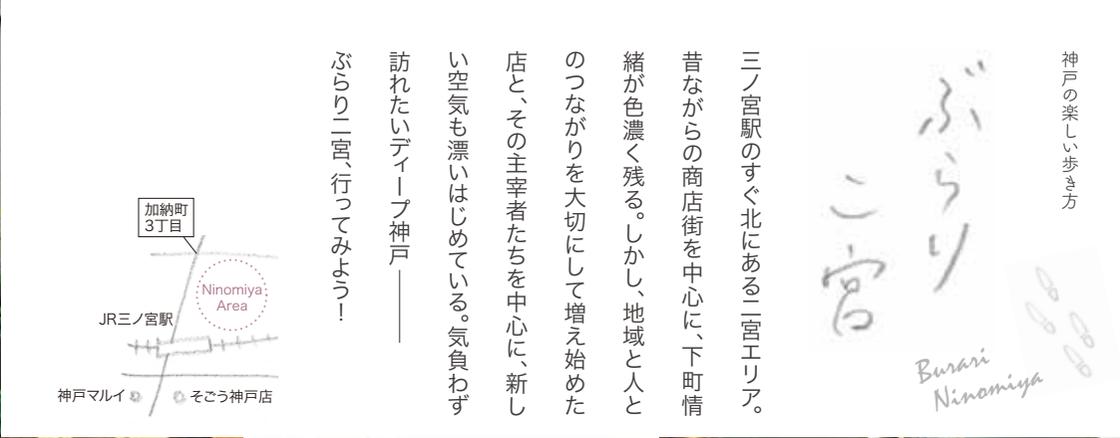
Minato Hütte  
◆住所/神戸市中央区二宮町4-6-3  
◆TEL/078-219-3302  
カフェ:11:00～17:00、月・火曜休  
バー:18:00～24:00、日曜休  
※水～土曜はランチ営業あり。  
11:00～15:00  
ゲストハウス:無休

ミナトヒュッテ  
Minato Hütte  
minato hutte

山小屋で働いた後、神戸・垂水のワインバーに勤めていた夫の橋本さんと、キャビンアテンダントとしてパワフルに飛び回る妻の長谷さんのセンスが詰まったミナトヒュッテ。2F～3Fはゲストハウス、1Fはシックなカフェ・バーになっている。ゲストハウスに宿泊する旅人と、1Fに立ち寄る地元・神戸のお客さんが自然と言葉を交わして同じ時間を楽しんでいるのは、二宮らしい風景でもあるが、ヒュッテ=山小屋という屋号に込められた思いに育まれた空気がそうさせるのかもしれない。



海外からの旅人も、  
地元のおじいちゃんも、  
一緒になって盛り上がることも  
しばしばです



加納町  
3丁目  
JR三ノ宮駅  
神戸マルイ  
そごう神戸店  
Ninomiya Area

三ノ宮駅のすぐ北にある二宮エリア。昔ながらの商店街を中心に、下町情緒が色濃く残る。しかし、地域と人とのつながりを大切にして増え始めた店と、その主宰者たちを中心に、新しい空気も漂いはじめている。気負わず訪れたいディープ神戸——  
ぶらり二宮、行ってみよう!

神戸の楽しい歩き方  
ぶらり二宮  
Burari Ninomiya



START  
17:00



## 鉄板食堂 ちえり

teppan syokudo chieri



ちえりそばレギュラー600円、トッピング:特製すじ煮込み300円、半熟月見100円(税抜)



そば焼き完成!  
小麦粉を皮ごとすりつぶし、食物繊維や鉄分などの栄養が詰まった全粒粉の麺を使用。たっぷりキャベツと豚バラのレギュラーそばに、ステーキ肉の端っこをじっくり煮込んだ長田名物すじ煮込みと目玉焼きのトッピングが一押し。



木造の民家を改装し、随所に木の温かみを感じさせる内装が洒落た鉄板食堂ちえり。17年間、二宮の地で飲食店やゲストハウスを展開し、この先もワクワクする仕掛けを計画しているというオーナーが3年前にオープンさせた。「二宮は、人との距離が近い親しみのある町。これまで二宮に立ち寄ることのなかった観光客や若い人などが来てくれるのは、すばらしいこと」とオーナーが語る通り客層は幅広く、たっぷりの野菜と具が嬉しい全粒粉そば焼きと自家製フルーツシロップ割りで乾杯する女性客も多い。寒～い冬の日には、アツアツの鉄板前のカウンター席で暖まるのも◎。

- 鉄板食堂 ちえり
- ◆住所/神戸市中央区二宮町4-2-2
  - ◆TEL/078-241-1866
  - ◆時間/17:00～24:00
  - ◆休/水曜



自家製フルーツシロップ  
季節のフルーツをじっくり漬け込んだ味わい深いシロップはソーダ割りや酎ハイに。グラスに乗ったフルーツはしっかりと優しい甘み。

